

生徒Fさん：このような座談会とかでいろいろな地域を回っていると怒られたりすることもあるかと思いますが、やっぱり知事になって良かったと思うときはどういうときでしょうか。

知事：ちょっと格好をつけたことを言うかもしれませんが、高知県のためにという気持ちでとにかく一生懸命できるということです。それで朝から晩まで生きていけるというのは、ある意味幸せかもしれないなと思います。もともと高知生まれで、高知県が大好きという思いでいました。何か社会に恩返しをしたいという気持ちがたくさんあったので、逆に言うとそのような気持ち一辺倒で毎日仕事ができるというのは嬉しいなと思います。高知県のためにという気持ちで日々暮らしを立てていけばいいので、論理がすっきりしているわけです。これぐらい、ある意味吹っ切れたことはないです。マンデーブルーとか、そういうのはありますか。大人は、明日から月曜日で仕事かと思うと、日曜日の夕方の漫画とか見ると暗くなることがあるんですけどね。私も東京でサラリーマンだったときには、それがすごくありました。日曜日の夜、子供と一緒にアニメを見ては「ああ」という感じでした。今は全くないですね。そういう意味じゃ吹っ切れましたね。とにかく高知県のためにと。

あともう1つ。自分でやりたいと信じることをやろうとするから、仕事をやらされてしているつもりが全くないです。吹っ切れたことがすごく良かったと思っております。